

沖縄県立図書館評価指標に基づく図書館評価

平成26年9月22日

沖縄県立図書館協議会

[評価]

平成25年度の県立図書館は、『基本指標』『個別指標』ともに、ほぼ目標値を上回っており、総じて良好に運営されている。

『基本指標』の「入館者数」が増加している点はよいが、県立図書館としては直接来館者の増減だけではなく、貴重資料の保存、レファレンスや広域サービスの充実等、県内全域を視野に入れた公平・公正な図書館環境の実現と、館外への情報発信といった事業やサービスに、評価の重点を置くことが大切であるとする。

『個別指標』は、まず「広域型図書館」内の移動図書館について、その開催地域の特色や住民ニーズを生かす方向で、さらに運営を充実させていくことを期待する。一括貸出については、現在、利用のない高等学校にも周知し、資料整備を進めながら、利用対象を広げていくべきである。

また、「課題解決型図書館」では、各種研修・イベント等の内容は充実してきているが、さらに外部機関と連携して周知活動を行うことで、図書館未設置町村への参加の働きかけ等の取り組みを進めてほしい。

最後に、再度『知の拠点としての図書館の果たすべき役割』（沖縄県社会教育委員の会議 平成25年3月15日付）を確認・活用し、資料や施設の充実、そして特に図書館司書（正規職員）の採用・養成などの運営基盤の諸整備をとらして、より重要な機能となるレファレンスを中心とした図書館サービスの質を、継続的に向上させるように努めてほしい。

[項目別達成度評価]

1 基本指標

番号	提言事項	具体的な指標	評価	基本方針評価	
					評価
1	県民の知識要求に対応できるような確かな資料の収集・整理・保存に努め、その利用促進を図る。	・ 入館者数	4	4.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入館者数、蔵書冊数等全ての指標で、目標値を上回った。入館者数の増については、関係機関との連携行事への参加人数が大幅に増えたことに起因すると思われる。 ・ 貸出冊数については、平成23年度のリニューアル効果と平成24年度から貸出冊数を5冊から10冊に増やした事を受け、平成24年度は貸出冊数が大幅に増えているが、前年度はそれが落ち着いた状況にあると考えられる。
2		・ 蔵書冊数	4		
3		・ 貸出冊数	5		
4		・ レファレンス件数	5		

2 個別指標

(1) 広域型図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価		基本方向別評価	
							評価		評価
①	WEBサイトの充実	ア	レファレンス事例の発信	・ レファレンス事例のデータベースへの掲載件数	3	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ レファレンス事例のデータベースへの掲載は目標値を達成することができた。 ・ HPリニューアル後チェックサイトによる評価点数の使用ができなくなっている。今後、アクセスしづらい等課題を発見した場合には、なるべく速やかに対応し、利便性の確保に努めていきたい。 		
			高度なアクセシビリティの確保（利便性の確保）	・ ウェブアクセシビリティチェックサイトの評価点数	—				
②	市町村立図書館を通じたサービスの提供	ア	市町村立図書館への資料配送及び市町村立図書館間の相互貸借を支援する物流システムの構築	・ 市町村巡回車運搬冊数	4	4.7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村巡回車運搬冊数は目標値を達成することができた。 ・ 一括貸出冊数は、目標値を達成することができた。 ・ 移動図書館の貸出冊数は目標値は達成しているが、今度は、各町村教育委員会と連携し、移動図書館の開催に係る住民への広報をより強化していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2つの努力点とも目標値を達成している。 ・ 今後もWEBサイト等を活用した県民向け情報発信を効果的に行っていききたい。また、今年度から離島等の住民が各市町村教育委員会を通じて県立図書館の図書を利用できる協力貸出事業を開始し、図書館未設置町村等における読書活動への充実支援を図っていききたい。 	3.9
			離島や遠隔地の市町村立図書館との協同事業の実施	・ 一括貸出冊数	5				
				・ 移動図書館貸出冊数（開催回数）	5				

(2) 課題解決型図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価		基本方向別評価	
							評価		評価
①	市町村立図書館及び図書館未設置町村への支援	ア	市町村立図書館の職員を対象にした研修計画の策定と実施	・市町村立図書館職員を対象にした研修会開催回数	5	・研修会の開催については、目標値を達成している。	5.0		
②	地域活性化へ向けた支援活動の充実	ア	子ども読書活動推進及び文字・活字文化の振興に関する市町村立図書館への情報提供と連携事業の実施	・「子ども読書活動推進室」の利用回数	5	・読書活動推進室の利用回数は年々増加しており、読み聞かせボランティアや文庫連、子どもの本の研究会等活動団体との連携も深まった。今後も利用活用を促進する。	5.0	・2つの努力点とも目標値を達成している。 ・特に読書推進協議会等と連携した行事等の参加人数がかなり増えたこともあり、今後も事業内容を検討し、地域活性化へ向けた支援活動を充実させていく。	5.0
				・沖縄県読書推進運動協議会との連携行事への参加人数	5	・平成25年度は、お話しやスキルアップ研修やとしょかんまつりの開催内容の充実等から、行事への参加者が、昨年度の3倍以上に増えている。今後も、連携した取組みを強化する。			
			コ	沖縄県図書館協会等との連携・協力	・沖縄県図書館協会主催講演会及び研修会への参加人数	5			

(3) 琉球・沖縄関係資料の中核的図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価		基本方向別評価	
							評価		評価
①	郷土資料コレクションの形成	—	—	・郷土資料の受入冊数	1	・当初の目標値は宮古・八重山分館を含めた平均値となっており、本館のみの数値(7612冊)と比較すると目標値を達成している。	3.0		
②	郷土文化の保存と次世代への継承	イ	貴重資料保存計画(状態調査・修復・保存措置・複製)の策定	・修復点数	5	・資料の修復点数、複製本作成冊数及びデジタル郷土資料の公開点数については、目標値を達成した。	4.0	・郷土資料の受入れについては、分館廃止分を考慮して評価し目標は達成している。(次年度以降も同様な調整が必要である。)	3.5
				・複製本作成冊数	4				
			ウ	デジタル化郷土資料の公開と文化事業の実施	・デジタル郷土資料の公開点数				

(4) 電子図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価		基本方向別評価	
							評価		評価
①	付加価値の高い情報発信	ア	デジタルコンテンツの作成・発信	・デジタル郷土資料の解説点数	3	・デジタル郷土資料の解説点数については、目標値を達成している。	3.0		
②	ネットワークのセンター的機能構築の推進	ア	沖縄県図書館総合目録システムの機能充実と参加館の拡大	・総合目録システム参加館数	5	・前年度と同じ参加館数ではあるが、目標値は達成している。	5.0	・2つの努力点は目標を達成した。	4.0

総合評価

- ・基本指標については全て目標値を達成した。貸出冊数は微減となっているが、今年度「知の拠点パワーアップ事業」等により蔵書を大幅に増やす予定であり、これにより、今後貸出冊数等も増えていくと思われる。
- ・レファレンス事例のデータベースへの掲載や移動図書館、一括貸出等の活用により、県立図書館まで来館が困難な離島等遠隔地の県民サービスに努めた。
- ・関係機関等の共催による行事等への参加人数が前年度より大幅に増えたことを受け、今後も行事内容の充実を継続させていきたい。

4.2